

## 第 12 回日本婦人科ロボット手術学会より公募セッションならびに井坂賞のご案内

第 12 回日本婦人科ロボット手術学会学術講演会の演題募集は、12 月 1 日より開始いたします。募集開始に先立ちまして、公募テーマと井坂賞に関して下記の通りご案内いたしますので、ご準備をお願いいたします。

### 1. 公募セッションのテーマとねらい

#### シンポジウム 1

##### テーマ ロボット時代の手術教育

子宮全摘術の多くがロボット支援下手術に置き換わり、若手産婦人科医は十分な開腹術、腹腔鏡下手術の経験を積む前にロボット支援下手術を経験する時代になってきています。ロボット時代の手術教育について指導医側、若手医師側それぞれの視点から現状と問題点について議論したいと思います。本シンポジウムは指導医 1 名、専門医取得前後の若手医師 1 名の 2 名一組のペアで応募してください。

#### シンポジウム 2

##### テーマ ロボット支援下子宮体癌根治術における根治性と低侵襲性両立の試み

2018 年より保険適応となった早期子宮体癌に対するロボット支援下根治術は低侵襲でありながら良好な治療成績が報告されています。一方で、さらなる低侵襲性を実現するロボット支援下センチネルリンパ節生検やより進行した症例に低侵襲な治療を提供するロボット支援下傍大動脈リンパ節郭清術については現時点では保険収載されておらずその実現が切望されています。本シンポジウムでは子宮体癌に対する根治性と低侵襲性を兼備する先進的なロボット支援下手術に関する演題を募集します。

#### シンポジウム 3

##### テーマ ロボット支援下手術の pit fall

手術機器の進歩は日進月歩であり、新しいインストルメンツの導入は、未知のリスクをもたらします。ロボット支援下手術における誤操作を含めた些細なしくじりも、再び繰り返されないよう対策を練るためには、ひとつの事例が皆に速やかに共有され、議論される必要があります。ロボット支援下手術の安全な普及のために、手痛い経験とそれを避けるコツを求めます。

#### ワークショップ 1

##### 中小規模病院におけるロボット支援下手術—傾向と対策—

ロボット支援下手術が多くの術式で保険収載され、新規の手術支援ロボットが上市されて以来、中小規模病院でも手術支援ロボットが続々と導入されています。本ワークショップ

では、術者の確保やコスト削減、効率的な手術支援ロボット稼働のための試みなど中小規模病院ならではの苦勞と工夫について、好事例や課題を共有してください。

## ワークショップ 2

### ロボット支援下広汎子宮全摘術はどうなる？どうする？

子宮頸癌に対するロボット支援下広汎子宮全摘術の保険収載が切望されています。先進医療や臨床研究において行われた子宮頸癌に対するロボット支援下手術の治療成績や手術手技について話題をご提供いただき、現状と課題を話し合しましょう。

## ワークショップ 3

### もう RSC でしょ！

結紮縫合が多い子宮脱に対する仙骨腔固定術はロボット支援下手術の利点が大きく活かされる術式であり、今後の主流になると考えられます。本ワークショップでは、RSC における Tips から長期成績まで広い話題の提供を希望します。もちろん LSC 推しの演題も歓迎です。

## 2. 井坂賞の応募条件とおよその流れ

- ①年齢が 50 歳以下であること（免許証の写しなどの提出を求めます）
  - ②発表内容には手術動画が含まれること。
  - ③原則として、発表内容に含まれる手術動画の術者は、講演発表者自身であること
  - ④他の学会ですでに発表した内容の場合は、申請時にその旨（発表者を含む）を明記すること
  - ⑤応募〆切（1 月 7 日午後 5 時）までに抄録と年齢を証明する書類を提出し、3 月 11 日の午後 5 時までには発表内容（手術動画を含む）を mp4 で提出していただきます。
  - ⑥一次審査により 5 題以内を井坂賞候補演題として選考し、学術集会での発表を経て井坂賞を決定いたします。
  - ⑦一次審査で選考に漏れた演題は、一般演題として発表していただきます。
- なお、詳細は、学術集会ホームページ上に随時掲載して参りますので、応募の際にあらためてご確認ください。

第 12 回日本婦人科ロボット手術学会  
学術集会長 村上 節

運営事務局 Email address: 12jsgrs@belle.shiga-med.ac.jp